



長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

競技記録

少年男子2回戦

主審 緒方 崇 (東京)

副審 峰 聡 (長崎)

福岡 88



19 - 25

27 - 17

16 - 24

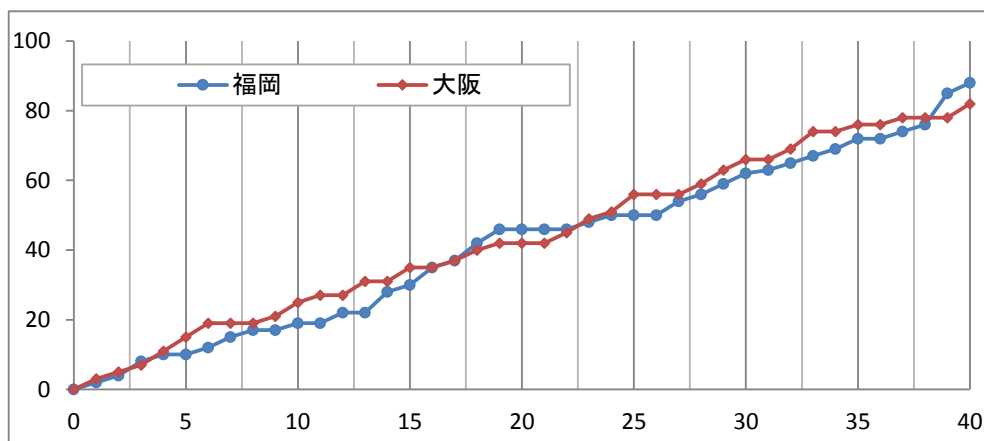
26 - 16

-

82 大阪



No. 19B-1 日時: 2014年10月19日(日) 10:00 会場: 長崎県立総合体育館



福岡

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 濱田 健太 (C)	4	0	2	0	3	4	0
5	秋山 皓太	0	0	0	0	1	2	0
6	* 井手 優希	17	4	1	3	2	5	2
7	鳥羽 陽介	2	0	1	0	0	1	0
8	武藤 海斗	0	0	0	0	1	0	1
9	* 津山 尚大	27	3	8	2	1	8	5
10	牧 隼利	3	0	1	1	2	4	3
11	* 増田 啓介	29	0	13	3	3	10	1
12	河野 佑太	0	0	0	0	0	0	0
13	張 効広	2	0	1	0	0	1	0
14	* 野口 夏来	4	0	2	0	2	11	0
コーチ	井手口 孝					0		
合計		88	7	29	9	15	46	12

大阪

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	吉岡 信友 (C)	0	0	0	0	0	0	0
5	* 石野 渉生	3	1	0	0	3	0	0
6	原 匠	-	-	-	-	-	-	-
7	* 綱井 勇介	13	1	4	2	4	7	4
8	* 今川 友哲	21	0	9	3	3	10	0
9	* 木下 誠	29	3	9	2	1	1	1
10	森田 雄次	3	1	0	0	0	0	1
11	武田 亘永	2	0	1	0	0	0	0
12	尾関 敦弥	3	0	1	1	2	11	6
13	* 野見 悠人	4	0	2	0	2	7	1
14	井福 晋太郎	4	0	2	0	1	0	0
コーチ	高橋 渉					0		
合計		82	6	28	8	16	36	13

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

2回戦屈指の好カード、福岡県対大阪府。両チームともマンツーマンでスタート。福岡県は#11の3本の連続ゴール下シュートが決まる。対する大阪府は#8、#9を中心にアウトサイド、ドライブイン、速攻と多彩な攻めで加点し、19-25大阪府リードで1Q終了。2Qに入り、大阪府は#14のゴール下、#11のドライブインが決まり、残り7分で9点リード。それに対し、福岡県はタイムアウトを取り、展開を速くし、#11のゴール下、#6の3Pシュート、#9の2P、3Pシュートで残り4分35-35の同点に追いつく。その後、一進一退の攻防が続き、終了間際速攻を仕かけた福岡県が46-42の4点リードで前半終了。3Q大阪府#7、#9のアウトサイド、ドライブインで残り5分50-56と逆転。その後も大阪府が#9を中心に攻め、リードを広げようとするが、福岡県も#6の連続3Pシュートで粘り、62-66の大阪府4点リードで3Q終了。4Qに入り大阪府は#7の3P、#8の速攻、#9の3Pシュートで加点。それに対し、福岡県は#9の連続アウトサイドシュートで粘り、残り3分から#4、#9、#11のゴール下、ドライブイン、速攻と怒涛の攻めで残り2分で逆転。大阪府はタイムアウトを取り、ファウルゲームに出るが福岡県は冷静にキープし、88-82で勝利した。果敢にプレイし挑んだ大阪府の猛攻を自力に勝る福岡県が凌いだ、手に汗握る好試合だった。

記事者 上野 陽一 (所属) 長崎県バスケットボール協会



長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

競技記録

少年男子2回戦

主審 井元 誠 (熊本)

副審 田崎 貴洋 (長崎)

千葉 97

○

22 - 15

16 - 20

27 - 16

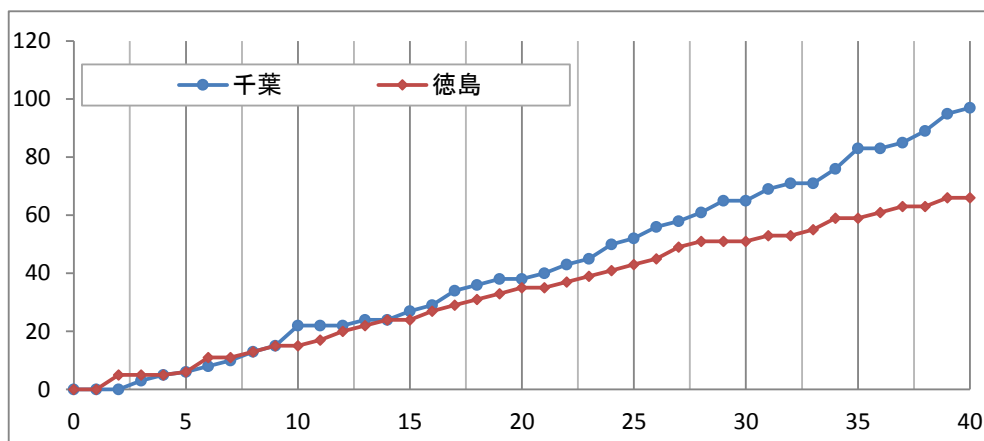
32 - 15

-

66 徳島

●

No. 19B-2 日時: 2014年10月19日(日) 11:45 会場: 長崎県立総合体育館



千葉

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 戸田 貴太 (C)	20	0	8	4	2	4	3
5	* 杉田 涼	9	3	0	0	2	7	3
6	平良 彰吾	6	0	3	0	3	1	0
7	* 青木 太一	16	0	8	0	1	9	4
8	* 岡野 直樹	11	1	4	0	2	4	1
9	川島 翔吾	4	0	1	2	1	0	0
10	川上 海斗	2	0	1	0	0	3	0
11	* 鶴巻 啓太	9	2	1	1	1	1	4
12	井口 仁	4	0	2	0	1	1	0
13	林 祐太郎	7	1	1	2	0	0	1
14	工藤 卓哉	9	0	3	3	0	3	1
コーチ	稲野辺 聡					0		
合計		97	7	32	12	13	33	17

徳島

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 速井 寛太 (C)	24	0	9	6	3	3	2
5	* 明石 拓真	16	0	8	0	4	3	1
6	山田 基雄	0	0	0	0	1	0	0
7	松浦 浩大	0	0	0	0	1	0	0
8	村田 和輝	3	0	1	1	1	2	0
9	山田 海斗	0	0	0	0	1	0	0
10	細井 柊哉	0	0	0	0	1	0	0
11	* 津田 晟多郎	4	1	0	1	4	4	0
12	* 高田 淳貴	12	1	3	3	4	5	3
13	西山 修人	3	1	0	0	0	2	3
14	* 虎尾 魁人	4	0	2	0	2	2	4
コーチ	西田 良裕					0		
合計		66	3	23	11	22	21	13

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦評

2回戦、千葉県対徳島県。1Q、ともに初戦同士で硬さが見られ、なかなかシュートが決まらない。残り5分で6-6。千葉県は、ディフェンスをオールコートプレスに変え試合が動き出す。徳島県は#5のゴール下シュート、千葉県は#11の3P、速攻などで1Q、22-15で終了。2Q、徳島県、#4の1対1から追い上げ、残り6分30秒で24-24の同点。その後徳島県は#11の3P、#8のゴール下シュート、千葉県は#5の3P、#7のゴール下シュートなどで加点し38-35、千葉県リードで折り返す。3Q、千葉県は#5の3P、#4のゴール下シュートで引き離しにかかり、残り6分30秒で48-39とする。千葉県は、#4のゴール下、#11の3Pなどで加点し、残り2分で61-51と千葉県がリードしたところで、千葉県はメンバーを入れ替えゾーンディフェンスに変える。徳島県は攻めあぐみ、65-51と千葉県がリードを広げ3Q終了。4Q、徳島県は#4のジャンプシュート、ドライブ、#5のゴール下シュートなどで追い上げようとするが、千葉県は#7のゴール下シュート、#4のジャンプシュートが次々と決まり、残り5分30秒で81-59と点差をさらに広げ、徳島県タイムアウト。その後も千葉県はディフェンスを緩めることなく97-66で千葉県が勝利を収めた。

記載者 村里 和久 (所属) 長崎県バスケットボール協会



長崎がんばらば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

競技記録

少年男子2回戦

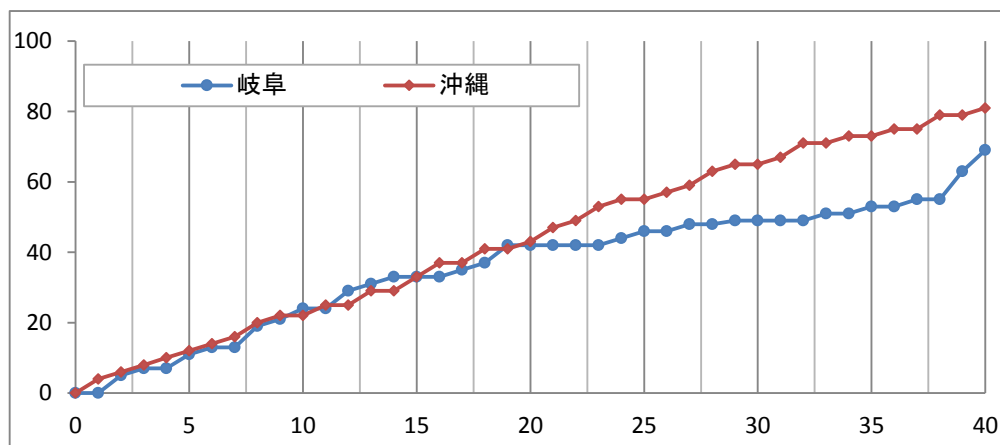
岐阜 69 81 沖縄

主審 小澤 勤 (山梨)

副審 松永 慎也 (長崎)

24	—	22
18	—	21
7	—	22
20	—	16
—		

No. 19B-3 日時: 2014年10月19日(日) 13:30 会場: 長崎県立総合体育館



岐阜

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 松岡 恭也 (C)	11	1	3	2	1	3	1
5	* 野原 悠平	14	0	7	0	0	2	2
6	* 増本 優太	4	0	1	2	4	11	1
7	沼田 景佑	0	0	0	0	0	0	0
8	真鍋 良太	7	1	2	0	1	5	0
9	* 山田 直季	4	0	2	0	0	0	0
10	* 木村 晃大	5	1	1	0	1	4	0
11	大坪 翔	6	0	3	0	2	2	2
12	市村 銀二郎	8	1	2	1	0	1	0
13	熊崎 貴人	2	0	1	0	3	3	0
14	松浦 康太	8	0	4	0	1	5	0
コーチ	山田 祐治					0		
合計		69	4	26	5	13	36	6

沖縄

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	* 税所 寛 (C)	6	0	3	0	1	8	4
5	武富 海志	4	0	2	0	0	3	1
6	* 大城 颯野	16	0	8	0	3	4	3
7	* 城間 銀次郎	17	0	6	5	1	11	0
8	* 鈴木 龍雄	8	0	4	0	0	5	4
9	下地 敦之	2	0	1	0	0	0	0
10	稲福 尚道	2	0	1	0	1	3	0
11	前本 理央	4	0	2	0	1	0	0
12	* 比嘉 アンジー健	10	0	5	0	2	12	0
13	デルラル 健二	0	0	0	0	1	1	0
14	比嘉 崇光	12	0	5	2	2	2	2
コーチ	井上 公男					0		
合計		81	0	37	7	12	49	14

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル R…リバウンド As…アシスト

戦評

2回戦、岐阜県対沖縄県。両チームともハーフコートマンツーマンでスタート。岐阜県は#5のジャンプシュートや#4の3Pで得点を重ね、沖縄県は#7や#12のゴール下などで得点する。1Qは互いに譲らず岐阜県が2点リード。2Qになっても一進一退の状態が続き、残り5分で33-33の同点。残り4分、岐阜県はディフェンスをゾーンにするがゲームの様相は変わらず、沖縄県1点リードで前半を終了。

3Q、沖縄県が#8のポストプレイや速攻でリードを7点とすると、岐阜県はタイムアウトを取りオフェンスの立て直しをはかる。しかし、得点を伸ばすことができない。一方、沖縄県はメンバーを入れ替えながら機動力を生かした攻防で一気に16点差をつける。4Q、岐阜県はディフェンスのプレッシャーを強め、必死の反撃を試みる。しかし、シュートがことごとくリングに嫌われ得点できない苦しい時間帯が続く。それに対して沖縄県は、メンバー全員を出場させる余裕を見せ81-69で勝利を収めた。

岐阜県も懸命に戦ったが、沖縄県の総合力が上回ったゲームであった。

記者 大久保 千万太 (所属) 長崎県バスケットボール協会



長崎がんばらんば国体 2014

第69回国民体育大会 平成26年10月12日(日)～10月22日(水)

君の夢 はばたけ今 ながさきから

第69回国民体育大会
バスケットボール競技

競技記録

少年男子2回戦

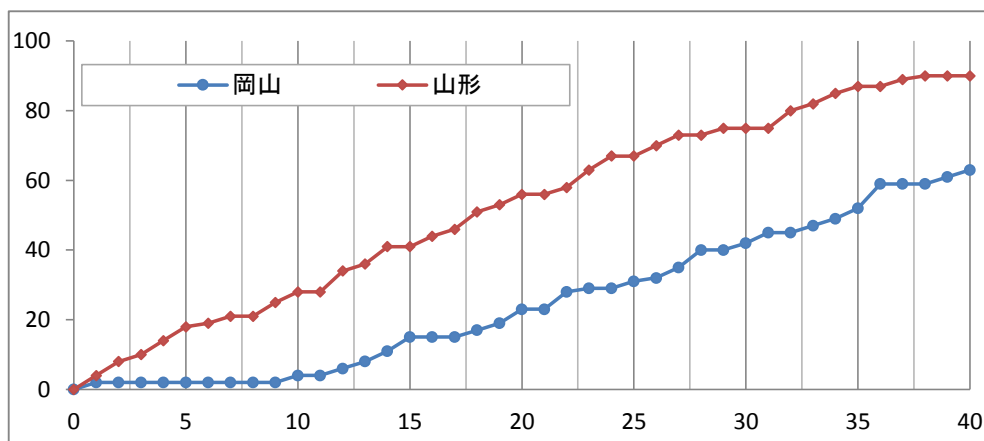
主審 山田 豊弘 (香川)

副審 堀内 浩平 (長崎)

岡山 63 ● 90 ○ 山形

4	—	28
19	—	28
19	—	19
21	—	15
—	—	—

No. 19B-4 日時: 2014年10月19日(日) 15:15 会場: 長崎県立総合体育館



岡山

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	小野 龍司	0	0	0	0	1	0	1
5	* 黄 泉路	2	0	1	0	2	2	0
6	* 難波 航太	12	2	3	0	1	2	2
7	竹内 大也	10	2	2	0	2	1	1
8	* 近土 真人	4	0	2	0	3	5	0
9	平 祐之介	6	0	2	2	1	4	1
10	王 元坤	7	0	2	3	1	6	0
11	鈴木 流聖	0	0	0	0	1	3	2
12	* 小川 直樹	14	2	4	0	0	1	0
13	小谷 大悟	2	0	0	2	1	2	1
14	* 森定 隼吾 (C)	6	0	2	2	0	1	1
コーチ	安藤 龍太					0		
合計		63	6	18	9	13	27	9

山形

No.	選手氏名	得点	3P	2P	FT	F	R	As
4	大戸 克俊 (C)	3	0	1	1	0	0	2
5	* 會田 遼太	7	0	3	1	0	2	4
6	* 熊澤 圭祐	15	3	1	4	0	4	2
7	* 前田 悟	14	0	7	0	3	7	1
8	* 高橋 丈一郎	8	0	4	0	1	6	0
9	高橋 史弥	8	0	4	0	2	3	1
10	工藤 直人	7	0	3	1	1	2	1
11	仁藤 洸太	0	0	0	0	0	4	0
12	尾形 祐甫	6	2	0	0	0	3	2
13	* 三浦 望	8	2	1	0	2	2	1
14	岸 隼杜	14	4	1	0	2	3	0
コーチ	細谷 尚寿					0		
合計		90	11	25	7	11	36	14

*...スターター (C)...キャプテン 3P...3点シュート 2P...2点シュート FT...フリースロー F...ファウル R...リバウンド As...アシスト

戦 評

2回戦、岡山県対山形県。1Q、岡山県はハーフコートゾーン、山形県はオールコートマンツーマンで試合開始。お互い早い展開だったが、初戦の岡山県はシュートが決まらない。一方山形県は、#7の3連続ミドルシュートが決まり勢いに乗る。開始4分2-12と山形県リード、その後も次々とリバウンドからの速攻で点を重ねる。2対16となったところで、岡山県タイムアウト。動きの固い岡山県は、インサイドにボールが入らず、アウトサイドのシュートで巻き返しをはかるが、ファウルが重なり点差は大きく開き、4-28山形県リードで1Q終了。2Q、岡山県は#6、#7の3Pやミドルシュートが決まりだし巻き返すが、山形県も#13、#14のミドルシュートが決まり23-56とさらに点差は開き前半終了。3Q、岡山県は、後半激しいディフェンスをしかけリズムが出てきたかと思われたが、山形県の強い守りに阻まれ、得点に結びつかない。岡山県は残り5分メンバーを総入れ替えするなど余裕を見せる。試合の様相は変わらず42-75山形県リード。4Q、岡山県は#6の3Pや#5のゴール下のシュートで挽回を見せるが流れは変わらず山形県が90-63で2回戦を制した。

記事者 三根 正美 (所属) 長崎県バスケットボール協会